



会津若葉幼稚園

案内時報

会津若松市湯川町
☎27-5195代

原発放射線漏れ事故 幼児の成長への影響は

東日本大震災以来、放射線被害を避けるため学校や幼稚園の屋外遊びが制限され成長発達への影響が心配されます。

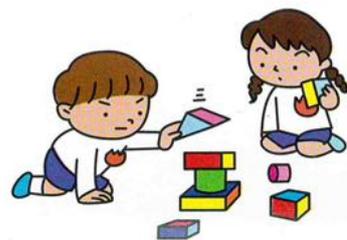
事故後の郡山市の学校や医師会の調査結果として「従来と比較し震災後は身長や体重の成長・発達に顕著な遅滞が出ている」と発表さ

れました。
家庭や学校の要望を受けて郡山、福島、本宮、南相馬などで大型室内遊戯施設を建設し子どもに開放しています。

若葉幼稚園は39年前から運動能力測定を続けてきました。
昨年秋の測定結果は郡山

のような体格面の成長障害は示されなかったものの、3月11日以後家庭で屋外遊びを避けていた3歳児、満3歳児の運動能力は例年を下回りました。
震災以前から在園する4歳5歳クラスでは停滞は目立たないものの、伸びが少なく「きこちなさ」「柔軟性不足」「屋外遊びへの関心低下」が観察されます。

「放射線被害は心配ない」との政府発表が繰り返されましたが福島県では家庭・学校・幼稚園が放射線被害予防のため屋外遊び制限をしました。



放射線被害を正確に防ぐため学校、幼稚園に設置された放射線自動計測・記録モニターによって、会津では安全の範囲や影響回避の方法が明らかになっています。

園内外の正確な線量測定の結果、雨水落下場所など線量の高い土や砂場の砂を両会津産に入替え、園舎の洗浄と改装、セメント舗装化などを実施しました。
鉄骨コンクリート2階建の園舎内は事故後ずっと極めて低い線量で全く変化はなく推移しました。
改装後短時間の屋外遊びを行い徐々に時間を延長して3歳児は1時間以内、4歳児5歳児は2時間以内の戸外遊びを、園庭の放射線表示計と天候を見ながら行っています。
震災直後の外出自粛により幼児の運動量が減り体力運動能力に影響があらまし

汗をかき息を弾ませて、太陽の光と風に包まれ屋外で自由に力いっぱい子ども達も遊ぶよう環境整備を続けています。



たが、安全対策を十分にしたら上で屋外遊び、屋内の運動遊びの量が増えるにつれ例年の水準に成長発達が回復しています。

汗をかき息を弾ませて、太陽の光と風に包まれ屋外で自由に力いっぱい子ども達も遊ぶよう環境整備を続けています。

若葉幼稚園の放射線対策 具体的に確実に



大震災を乗り越える 幼児教育を

将来への不安から仕方なく家庭でテレビやビデオ、絵本などで育児されているケースが見られます。
体格や運動能力を伸ばすことも大切ですが、福島の子どもにはさらに免疫力、抵抗力、耐性など基礎体力に加え、気力、精神力、集中力など集団遊びやスポーツの中で育つものが特に必要で、積極的に健康作りを推進したいと考えています。

屋外活動が制限され、県内小中学校では落着きなさや登校渋り、運動不足による肥満傾向など悪影響が明らかと報告されました。
県内市町村教育委員会と福島大学などの最近の調査結果では、カリキュラム通りの授業や放課後活動などが出来ず、学力、健康、生活に課題が観察されました。会津は低線量と言った環境条件を見極め適切な対策が求められます。



次の時代を良くする 幼児教育の水準向上

猛烈な競争と勤勉さで海外留学などに挑戦する新興国の若者と勉強、スポーツ仕事など負けずに頑張れる日本の次世代が、福島県出身者を含めて育っていることがロンドンオリンピックで示されました。

現在世界の多くの国々が幼児教育への投資は社会への還元率が最も高いと公的支出を急増させています。
女性の社会進出を間接支援する発想ではありません。社会・経済・文化を成長

させ、納税負担力があり、社会保障費用の必要額を下げる人材育成に最高の効率の戦略と国連OECDは位置づけています。
日本は「一元化」「こども園」などで何年も停滞していますが英国、米国、フランス、韓国など無料化やプログラム拡大を積極的に推進しています。
幼児教育水準の改善や向上、充実が確実に将来社会に貢献します。

幼児期の心身の健康作りで 幸せな人生を

幼児の健康と、バランスのとれた運動能力の発達は非常に重要です。運動好きになり、困難な場面でも前向きに積極的に取り組む心身の健康の基礎を育てることが目標です。公園や広場で自由に遊べない時代で、友達や兄弟姉妹

妹が減り遊びの量が減っています。文部科学省は3年間調査し小中学生の体力が高いグループと低いグループに二極化傾向を把握、「幼児期に十分遊ぶと成人してから運動能力や健康度が高い」と結論しました。



幼児期の運動指針が 発表されました。

今年春発行された「幼児期運動指針」は「幼児が毎日1時間は戸外で伸び伸び変化のある遊びをして、意欲や気力を生々維持し安定したコミュニケーション能力と健康の基礎を育てて欲しい」と作成されました。幼児には「教育のための運動」ではなく「戸外で楽

しく体を動かして遊ぶ」機会が大切です。幼稚園の運動場は「安全で必要な広さがあり友達や先生がいて、興味を深める遊具、動物、植物、玩具がある」数少ない天国です。幼児に必要な「時間、空間、仲間」が揃っている場所では沢山遊びましょう。

幼稚園評価の ガイドラインが 改定されました

地域社会の次世代育成に責任を果たせる幼稚園かどうか適切な評価がされるよう「ガイドライン」が改定されました。教育内容や運営を改善して教育水準を向上させるためです。

「改善と向上」のために会津若葉幼稚園は文部科学省等の指定研究「幼児の発達と教育課程」「幼稚園と学力調査の関係」を実施し、見直しを進めました。勤務年数が長く、4年制大学卒教員の比率が高い教員組織と、研修体制の改善に力を入れ、充実と向上を進めています。将来、立派な社会人に成長した園児から「楽しかった」「子どもも教育を受けさせたい」と評価される幼稚園でありたいと努力しています。



未入园児体験遊び

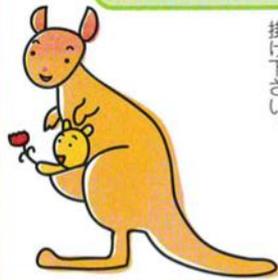
会津若松市湯川町3-74
竹田綜合病院南西交差点

電話0242-27-5195
会津若葉・未入园児係

プレ幼稚園にここごルーム

カンガルームでお母さんと幼稚園体験が十分出来る、誕生日からの満3才クラス入園を目指してお母さんと離れて幼稚園生活をゆっくり楽しんでみます。お母さん代わりの先生と少人数のお友達と、週二回が三回午前中だけ生活する経験をします。排泄の自立が早まり社会性の芽生えが育ち、大変スムーズに幼稚園生活に溶け込み安定した集団生活につながります。家庭から集団生活に移行する時期は、優しく・親切・丁寧な先生にお母さんと同じように受け入れられることがとても大切です。ご関心のある方はどうぞお問い合わせ（見学下さい）。

お母さんと一緒カンガルーム



カンガルームは文字通りお母さんのお腹ポケットから珍しいの世界を見るように、幼稚園のホールや保育室、園庭の砂場、ブランコ、スベリ台など一緒に眺め、触れたり動かして興味関心を高め、新鮮な刺激を受けます。お母さんと一緒に体験すると一気の世界が広がり、集団生活への意欲や期待が芽生え伸びていきます。月に一、二回一緒に掛付け下さい。



ソニー幼児教育プログラム 2012年全国審査で優秀園に

実践報告研修会を開催

公開保育と協議・講演会など

生涯続くさまざまな「学び」の第一歩が幼稚園。楽しい学校生活の基礎になります。

集団が「良い環境」になっているかどうかで大きな差が生じます。良い環境の第一は「優し

くて親切で丁寧」な、そしてよく勉強している、経験豊富な先生の存在です。

全国100園のなかから優秀プログラムと評価された年間教育計画

科学する心の育成を目ざして、第10回ソニー幼児教育支援プログラムには、全国の公立・幼稚園、保育所、こども園100園が応募しました。

東大先端科学技術センタ

ー・ポードメンバール小泉英明先生、東京大学大学院教育学研究科秋田器代美教授、上智大学生命論理研究所青木清所長、東京成徳大学子ども学部神長美津子教授の審査の結果、会津若菜幼稚園は優秀園に選定されました。

翌年度の保育計画、具体的プログラムを作成し応募入賞園は公開保育をして「科学の芽」の育ちを目標に公開研修会を実施します。



特別講演 神長美津子先生

7月7日、群馬、宮城、福島などの公立幼稚園・保育所・こども園の約100名の先生が参加、会津若菜幼稚園と会津大学で参観とグループ協議、神長先生の講演など研修をしました。

園児が参観者を気にせず落ちついて先生の話を聞き仲間の発言を良く受け止めて、否定せず意見を出し合い考えをまとめていました。「幼児の疑問や意欲、感性などを上手に受け止める保育、大勢の考えを急がずまとめさせる保育が幼児を育てます。」と神長先生は話され、実践記録を続け幼児ひとりひとりを理解し、レポートにまとめる取組みが大切に強調されました。



幼児の「こころ」と「からだ」の健康を育てる教育環境が必要です

や周囲に伝えられません。

最近全国のいくつかの学校で許されないいじめ事件が起き、加害者の未熟性が注目されます。幼児の「こころ」と「からだ」のすこやかな成長を後押しする良い教育環境は、保護者と幼児教育担当者の協力で作られます。過保護や放任、甘やかし過ぎなどが長期継続くと成長が損なわれます。感じたこと、して欲しいこと、思っていたこと、判断しないことなどを上手に相手

汗をかきお日さまや風と一緒に遊ぶ気持ち良い環境の中で小さな衝突やいざこざを体験して「やさしさ」「適応力」が生まれます。伸び伸び遊ぶことで身につく体力、抵抗力、免疫力に精神面の成長が加わり、幼児は成長します。幼稚園の運動場やホール、保育室で元氣よくお友達と沢山遊ぶことが大切です。

もともと子どもは外遊び大好き
良い空間、仲間、時間がある
幼稚園生活



幼稚園児は天気が悪くても「お外で遊びたい」と望み「外遊びをしましょう」と声がかかると、普段より早く後片付けを済ませ帽子をかぶり準備をします。

最近放射線計の数値を確認し、降雨を避け風で埃が舞いそうなときはマスクを忘れず、1ないし2時間以内で遊びを切り上げ、埃を落とし屋内に戻ってから手洗い、うがいを忘れず行なう習慣が付いています。

は食欲があり、良い睡眠をとることが出来ます。

夕ご飯を沢山食べてぐっすり眠る姿は未来につながる希望の形で、極めて僅かとは言え本来はない放射線を軽視せず、慎重に科学的に安全を確かめ、それに負けない体力、健康づくり、情操育成を目指して保育を進めます。

家庭のなかで子どもの成長発達を確かめることは、ストレスや不安を乗り越え未来に向かう希望の明かりとなります。



未入園児が幼稚園児と触れ合い、真似ることは集団生活の楽しい体験です。

幼稚園は、幼児が面白いと感じる遊びのなかで学びます。

楽しい環境、満足する雰囲気

未入園児に
幼稚園体験遊びを

未入園児が幼稚園児と触れ合い、真似ることは集団生活の楽しい体験です。

幼稚園は、幼児が面白いと感じる遊びのなかで学びます。

楽しい環境、満足する雰囲気

会津は相双地域、中通り地域より放射線量がかなり低い水準です。

専門学会の調査で「低線量被曝の福島で低年齢の子どもと暮らす保護者のスト

レスは子どもが低年齢ほど強い。母親が特に敏感」と指摘され、長時間の調査と支援対策が進められます。

信頼、安心できる幼稚園での生活を親子と一緒に体験してみてください。



放射線、インフルエンザ、紫外線
などに負けない基礎体力づくりを

いま福島県の幼児には放射能だけでなく紫外線や新型コロナウイルスインフルエンザ、O-157などあらゆる有害な刺激や病原体への抵抗力、免疫、耐性、基礎体力をしっかりと育てる健康基盤作りが重要です。

集団での遊びによって体力、運動能力とともに社会性や適応力、意欲や自信を育て「生きる力」を伸ばし

ましよう。

日本の将来を担う小さいお子さん方を育てる保護者の方々が、笑顔で成長を築き、親子で充実した時間を過ごせるよう若葉幼稚園は満3歳前の未入園児体験遊びを「風の子プログラム」として積極的に増やしています。



室内ソーラー温水プールや
木陰の砂場

屋上に設置した太陽熱温水装置で温めた水道水を毎日交換し、6月から9月まで大小のプールで、天候に左右されず年齢に応じて、未入園児も、保護者と一緒にプールで遊べます。

初め10センチから20センチの浅い水量で怖がらず遊びを体験し慣れると腰を超える深さのプールで楽しめます。

幼児が水遊びや砂遊びで緊張や欲求不満をほぐし、リラックスして開放的な気分になることは精神保健の面で良い効果が現れます。

満足そうなニコニコ顔で晴れ晴れと生命力を感じさせる表情です。

おやつ代以外の費用はかかりませんので幼稚園の遊びを沢山体験させてあげてください。